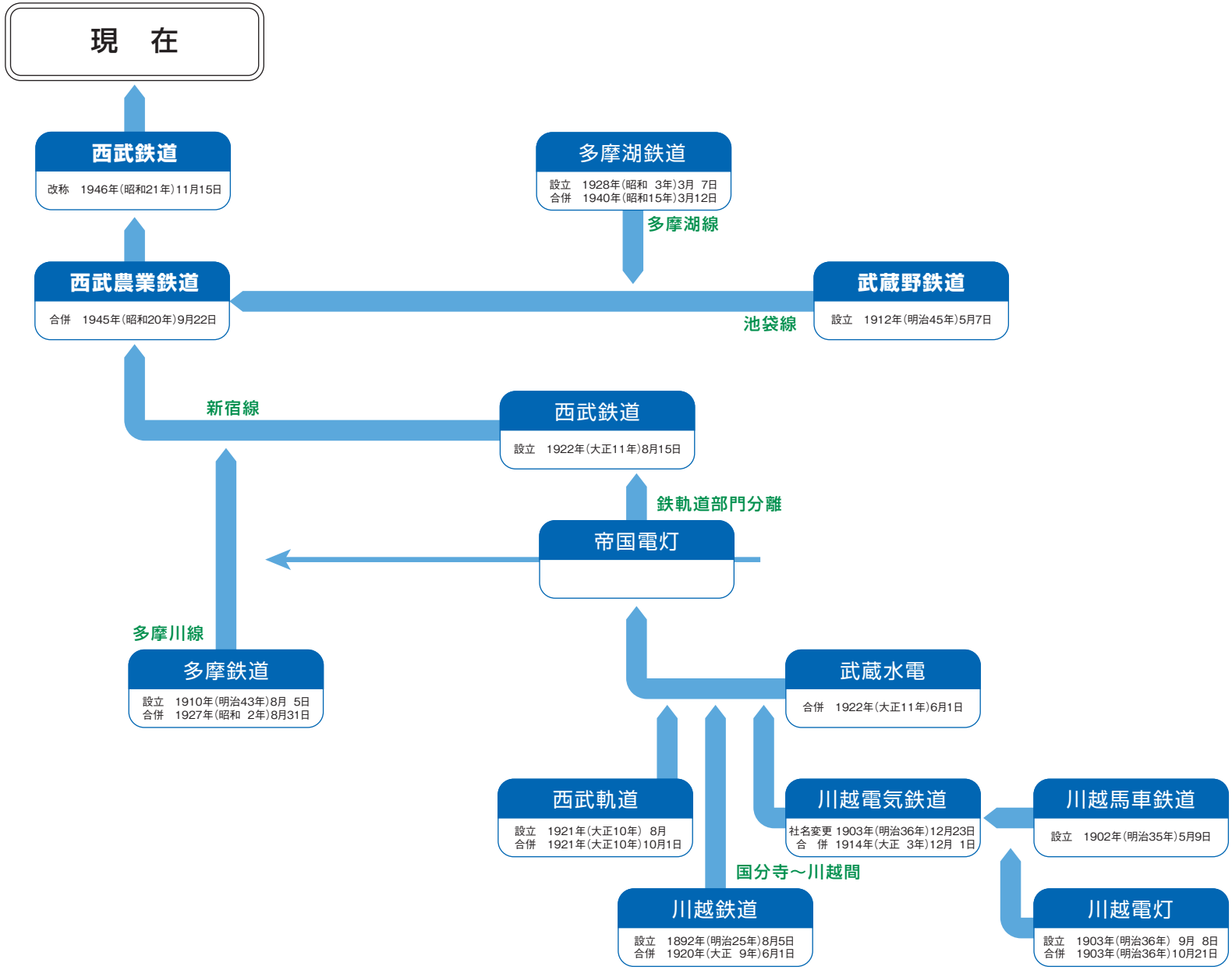
会社の歴史

おいたち

当社の前身である武蔵野鉄道は、1912年(明治45年)5月7日資本金100万円をもって設立され、1915年(大正4年)4月池袋～飯能間43.7kmを汽車によって営業を始めました。その後、電化、複線化、線路の延長を進め、1929年(昭和4年)9月、現在の池袋線を完成しました。1945年(昭和20年)には旧西武鉄道(現新宿線、国分寺線、西武園線、安比奈線、多摩川線)を合併し、翌1946年(昭和21年)にはバス部門を分離して、社名を現在の西武鉄道として新たに発足し、戦後の困難を克服して復興に努力してきました。

その後は、新線の建設、複線化、駅舎や駅構内の改良、車両の増備などにより、輸送力の増強・サービスの向上に努める一方、観光、不動産などの生活関連事業を営み、沿線の発展、活性化にも努めてきました。

また、近年は“人と環境にやさしい鉄道”を目指してバリアフリー施設の充実に力を入れるとともに、環境に配慮した施設や車両の導入を進めています。

現在、幹線2、支線11を含む13路線179.8(旅客営業キロは176.6)km、1日の輸送人員169万人を数える都市交通の担い手として、地域社会の発展に貢献しています。

沿革図